

## 会 議 録

会議の名称		令和6年度第4回高山学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和7年2月20日（木）開会9:00 閉会11:30		
開催場所		つくば市立島名小学校 会議室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	亀山 健一郎、山本 敦之、清水 健、石川 貴子 石濱 正善、根本 一城、鈴木 一雄、堀口 絹代 中川 元 高山中学校：校長 荒井 克彦、教頭 小林 博 教務主任 浅野 陽子 副教務主任 毛塚 裕之 真瀬小学校：校長 大久保 悦郎 教頭 諸橋 智紀 教務主任 宮本 順子 副教務主任 吉原 勝 島名小学校：校長 大西 秀重 教務主任 杉崎 妙子 香取台小：校長 塚本 明 教頭 佐藤 尚子		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課参事：山口健次 生涯学習推進課：飯島 遊		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議「学校で困っていること」・地域との関係の在り方		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 前回の議事の確認 4 協議 （1）令和6年度 学校評価について			

	(2) 授業参観 (3) 熟議「学校で困っていること」・地域との連携の在り方
5	その他
6	閉会

<p>&lt;審議内容&gt;</p>	
<p>1 開会</p>	<p>亀山座長：ただ今から、令和6年度第4回高山学園コミュニティ・スクール推進会議を開会します。会議を進行するにあたり書記を真瀬小学校、宮本先生にお願いします。→承認</p>
<p>2 挨拶</p>	<p>亀山座長：今回、第4回が最後となります。よろしくお願ひいたします。 荒井委員：第4回の会議となりました。寒い中、早朝より御協力いただきましてありがとうございます。皆様からいただいた、御意見を元に学校の運営を進めてきました。この後、学校評価の結果の報告があります。皆様から御意見いただいた部分をできる限り反映させながらやってきた。形にするのには難しい部分もありましたが、皆様からの貴重な意見をいただいて、子どもたちの健全な育成のために、とても重要な意見でした。来年度に向けての話し合いを進めていきますが、学校としても今年度いただいた意見を十分に反映できなかった部分もありますので、これを十分に生かしながら、来年度の運営協議会が発展していくように、今日は話し合いを進めていただければと思います。どうぞよろしくお願ひします。</p>
<p>3 前回の議事の確認</p>	<p>亀山座長：前回は、熟議1として「学校ごとに、人権教育や人とのつながりを深める活動についての現状を紹介」熟議2として「さらなる充実、新たな取組についてのアイディア、課題」について話し合いを深めました。 「人と人とのつながりを深める活動や学習機会の充実と創出について」の熟議をしていただきました。</p>
<p>4 協議</p>	<p>(1) 熟議①学校ごとに、学校評価アンケート結果についての主な項目についての報告</p> <p>○真瀬小（諸橋委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お子さんはいきいきと学校生活を送っているか。」「はい97%」保護者・児童共95%が「はい」と回答。児童は楽しく学校生活を送っていることがわかる。しかし残り5%に目を向けると改善が必要。引き続き学校生活が楽しく送れるよう支援していきたい。</li> <li>・「お子さんは進んで学習に取り組んでいると思いますか。」「はい78%」昨年より保護者3ポイント、児童1ポイント減少している。教えから学びへの授業の展開を図りつつ、児童の発達段階に応じた授業展開やねらいを明確にした授業、ICTの効果的な活用、体験的な学習など日々の授業改善に努めてきた。今後も開かれた教育課程実現や地域資源の活用を促進していきたい。</li> <li>・「お子さんは小学生としての自覚をもち責任感のある子に育っていま</li> </ul>

すか。」「はい96%」

- ・「お子さんは友達や家族、地域の人によいと思うことを進んで行っていますか。」「はい90%」
- ・「お子さんは相手のことを考えて行動したり、協力し合ったりする心が育っていると思いますか。」「はい94%」  
高評価をいただいたが、今後も保護者や地域の皆様の御協力をいただきながら、児童の安全確保に取り組んでいきたい。

#### ○島名小（大西委員）

- ・「お子さんは、いきいきと学校生活を送っていますか。」「はい95%」  
残り5%に向けていけない。
- ・「お子さんは、進んで学習に取り組んでいますか。」「はい61%」  
「進んで」というところに関して目を向けて来年度に向け検証をしていきたい。
- ・「お子さんは、相手のことを考え思いやりのある子に育っていますか。」  
「はい94%」気になったのは、「分からない」の回答。
- ・「(地域の方への質問) 学校は保護者や地域の方々と連携して児童の成長に努めていますか。」「はい66%」注目したいのは「わからない17%」  
これは、学校からの発信をもっとしていく必要がある。

#### ○香取台小（塚本委員）

- ・肯定的回答が90%以上。
- ・「お子さんはいきいきと楽しく学校生活を送っていると思いますか。」  
「学校はお子さんがいきいきと学校生活を送るために努めていますか。」  
「学校はお子さんにとって、安心・安全に学校生活を送れるよう努めていると思いますか。」  
保護者も子どもも、とても高い評価だった。

本校では、昨年度より新しい学校を子どもたち自身でつくり上げる「かとちゃんプロジェクト」というものを充実させてきた。これらの活動が成果につながっていると考えている。

- ・安心安全な学校づくりについては朝の交通安全指導、家庭科実習、町探検の補助、運動会の後片付け、奉仕作業、読み聞かせなど保護者の皆様に様々な学校ボランティアに御協力いただいている。マンパワーを増大できたので、高い評価をいただいている。引き続き連携を大切にしていきたい。
- ・否定的評価20%以上の項目もあった。「お子さんは進んで学習していると思いますか。」ここが保護者・児童共に低い評価だった。本校では学びたいことを自ら選んでいく探究的学びを推進しているが、今後はさらに、子どもたちの意欲を高められるように、子どもたちの興味関心や学びのスピード、習熟度をよく見取り、多様性に対応することができるよう、研修を進めていきたい。
- ・早寝早起き朝ごはんの習慣を身に付け登校していますか。昨年度より評価が低くなっている。保健室の来室状況を分析すると、体調不良の児童は、就寝時間遅い。理由は、塾や習い事、スマホやタブレットなどの動画視聴やゲーム等がある。今後も保護者と連携しながら多様に変化する時代に生きる、子どもたちを育むための努力を継続していく。

○高山中（小林委員）

- ・保護者のみにアンケートを実施した。
- ・「お子さんはいきいき学校生活を送っていますか。」「はい 89%」
- ・「お子さんは進んで学習に取り組んでいると思いますか。」「はい 58%」低い評価となった。理由としては、保護者の思い描く理想が高いためと推察。先日の学力診断の結果はよかった。学力は落ちていない。
- ・「お子さんは中学生としての自覚をもち責任ある行動をしている。」「はい 91%」行事等を通して責任感を高めるような取り組みが結果につながった。
- ・「感謝の心や思いやりの心が育ってきていると思いますか。」「はい 90%」
- ・「自他のよさを認め合う意識が見ついていると思いますか。」「はい 88%」これらは人権学習によって育っているもの。保護者にも理解されている。
- ・「友達や家族、地域方によいと思うことを進んで行っていますか。」「はい 81%」
- ・あいさつ運動を今年度から復活。小学校との連携も含め、今後も継続していきたい。

(2) 授業参観

杉崎委員：9時30分より授業参観になります。よろしくお願いいたします。

(3) 熟議②「学校で困っていること」・地域との連携の在り方

杉崎委員：今年一年間、CS推進会議として進めてきましたが、来年からは協議会として本格施行になっていきます。令和7年度の学校運営協議会に向けて、学校が困っていることなどを話し合ってください。20分程度各グループで話し合ってください。

30分の話合い後、発表

○真瀬小（諸橋委員）

- ・バス待機児童の見守り
  - ・朝の登校後安全確保
  - ・地域連携をしながらの学びの場の創出、開かれた学校づくりへ
  - ・施設管理や芋栽培管理
- まずは動き出してみることが大事、地域に協力を仰いでいく。

○島名小（大西委員）

- ・水田管理
- ・授業（技能）サポート
- ・登下校指導の協力

来年度に向けて、地域学校協働推進員を活用し、学校が教育活動をするときに協力を仰ぎたい。

地域でやっているイベントをCSの観点から地域との連携が持続可能なものへしていく。

○香取台小（中川委員）

- ・物理的 PCのアップデートなど
- ・時間的 マンパワーがない、行政側のサポート人を増やす、保護者の

協力、余白がない（心的）、S Cの先生利用、金曜日に怪我が多い。

1086時間は超えてはならないが指導要領で求められるものが増えている。目の前の子どもに向き合いたいけどできない。文書作成の時間多い。

- ・ 地域的 コミュニティが成立していない、保護者が先生の困り感がわからない、保護者の介入領域がわからない。

#### ○高山中（小林委員）

- ・ 予算もついたので具体的な内容  
真瀬新田源田太鼓、スポーツイベント、パラスポーツ→人権教育との連携。地域の人々と共に行っていく。
- ・ 奉仕作業。現在、地域と連携はしていない。地域の応援団と協力連携していきたいが、学校発信だけではなく協議会からも発信が実現できればありがたい。

杉崎委員：具体的な困り感が出ていた。育てたい児童像をしっかりと、それに対して学校と地域がどれだけ協力していけるかが大切。

#### 5 その他

##### 事務局連絡

本年度4回の会議ありがとうございました。4月からは、学校運営協議会となっていくと思います。またいろいろ運営も変わっていくと思うが、円滑に進めていきたいと思います。委員の選出等も後日連絡します。委員をやってみての御感想などをいただけると助かります。

C S会議への御参加ありがとうございました。アンケートへの御協力をお願いいただければと思います。一年間ありがとうございました。

#### 6 閉会

亀山座長：本日の「協議」の内容は以上になります。また本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。以上をもちまして、令和6年度 第4回高山学園コミュニティ・スクール推進会議を閉会いたします。

# 令和6年度 第4回高山学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和7年2月20日（木）

9：00～

場所：島名小学校 会議室

## 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 前回の議事の確認

4 協 議

(1) 令和6年度 学校評価について

(2) 授業参観

(3) 熟議 「学校で困っていること」・地域との連携の在り方

5 そ の 他

6 閉 会

## 会 議 録

会議の名称		令和6年度第3回高山学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和6年12月5日（木）開会9:00 閉会11:30		
開催場所		つくば市立高山中学校 図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	飯野 誠一、山本 敦之、飯島 賢一、清水 健、 根本 一城、鈴木 一雄、堀口 絹代、中川 元、 宇都宮 町子、堀越 直子 高山中学校：校長 荒井 克彦、教頭 小林 博 教務主任 浅野 陽子 副教務主任 毛塚 裕之 真瀬小学校：校長 大久保 悦郎 教頭 諸橋 智紀 副教務主任 吉原 勝 島名小学校：校長 大西 秀重 教務主任 杉崎 妙子 香取台小：校長 塚本 明 教頭 佐藤 尚子 教務主任 鈴木 一彦		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 係長：飯島 遊 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議「人と人とのつながりを深める活動や学習機会の充実と創出について」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 前回の議事の確認 4 人権集会参観 5 協議 (1) 熟議「人と人とのつながりを深める活動や学習機会の充実と創出について」 (2) その他 ・地域・学校の課題の共有と今後の予定について 6 閉会			

## <審議内容>

### 1 開会

山本副座長：ただ今から、令和6年度第3回高山学園コミュニティ・スクール推進会議を開会します。座長の亀山さんが欠席のため代わりに進行を務めさせていただきます。会議を進行するにあたり書記を島名小学校、杉崎委員にお願いいたします。→承認

### 2 挨拶

山本副座長：先日福岡県のある私立学校の教職員研修を行って参りました。教育現場が大きく変化していると共に、先生方の負担が年々高まっていることを改めて感じました。このような状況から今後の子どもたちの教育に関して、我々大人がよりよく理解し、考え方をアップデートしていかなければならないと痛感しました。

また、コミュニティ・スクール協議会での話合いが、地域社会の人たちにとっての学校教育をより良く理解する場として継続していけたらと思っております。

荒井委員：我々教員としても、地域の皆様との話合いを重ねてブラッシュアップをしていきたいと思っております。本日は人と人とのつながり、人権教育といった視点で熟議を進めていただければありがたいです。そのために、本校での人権集会を見ていただきます。

### 3 前回の議事の確認

山本副座長：前回は、熟議1として「学校の教育活動において、子どもたちのために学校と地域が行えること」、熟議2として「地域のために学校ができることは何か」について話合いを深めました。

各学校の学校運営の基本方針についての説明及び「地域・学校・保護者で育てていきたい児童生徒像について」の熟議をしていただきました。

### 4 人権集会参観

小林委員：17の人権課題のうち9つの課題について、生徒たち自身が調べてまとめたことを発表します。全学年各学級でグループをつくり、各課題についての調べ学習を行いました。本日は各学年の代表の生徒たちの発表になります。

### 5 協議

(1)熟議「人と人とのつながりを深める活動や学習機会の充実と創出について」

①各学校ごとに、人権教育や人と人とのつながりを深める活動についての現状を紹介

#### ○高山中

- ・人権集会…学んだことをアウトプットし正しく理解する、それを実践、行動に移していく。(つくばスタイル科だけでなく全教育活動の中で)
- ・小中学校合同あいさつ運動…第2回推進会議で挙げられた「あいさつが少なくなった」という課題に対してできることとして実施。

#### ○真瀬小

- ・仲良し集会・・・異学年の縦割り班で学び合う。オリエンテーリング
- ・保育園、幼稚園との交流、学校見学



- ・地域探検、農家体験
- ・もっと子どもたちを地域に戻して地域を活性化させたい。
- 島名小
  - ・なかよし集会（いじめをなくすための各クラスのスローガンの共有）
  - ・縦割り班活動
  - ・地域人材の活用（米作り体験・感謝の会）
  - ・親子活動（各学年の保護者代表が中心となって）
- 香取台小
  - ・今年度のキーワードは「みんなちがってみんないい」
  - ・各学年で会議⇒各学年のスローガン設定⇒いじめ月間（いじめ防止集会）※課題についての話し合い活動を大切にしている
  - ・人権集会           ・毛塚先生の授業           ・6年生の学年集会
  - ・町探検・学区探検の際の引率ボランティア
  - ・授業ボランティア（職業についてなど）

②さらなる充実、新たな取組についてのアイディア、課題について  
30分の話合い後、発表

- 高山中
  - ・コミュニケーション能力、信頼関係の構築が大切。
  - ・自己肯定感、自己有用感の醸成。どう心を動かされたかが大切。
  - ・出合いや体験の場の提供（カスミ協力による調理実習・ゆかた体験）
  - ・職場体験学習（様々な業種）
  - ・つながりは簡単にできない。時間もかかるので地域の力が必要。
  - ・CSとして地域と子どもが共に成長できる場所を目指す。
- 真瀬小
  - ・これまでの実践をステップアップ
  - ・キャリアアップ⇒大人が核となって活動していく。そのためには先生の意識変革や深化が必要。どういった仕掛けをするか。
  - ・体験を大切にしていく。失敗や感動を積み重ねていく場の設定（課題解決の力に結びつく）。大人が仕込む。
  - ・人権・・・本気で伝えてくれる大人の存在が大切。
  - ・既存のコミュニティとの連携
- 島名小
  - ・縦のつながりをどのように作っていくか。
  - ・様々な業種、年代の方とのふれあいがワクワクを生む⇒まちづくり協議会との連携（イルミネーション点灯式以外の機会の設定）⇒文化の継承
- 香取台小
  - ・駅前イルミネーションでの交流。6年生の夢・希望の掲示。足を止めて見てくださる人の存在。
  - ・小小連携プロジェクト（合同体験や修学旅行など）
  - ・人とのつながりかるた、思いやりかるた
  - ・防災キャンプ
  - ・保護者・地域のボランティア（奉仕活動・清掃・日常的に出入りできる環境、制度）先進校をモデルに。

③学園長の荒井委員より

・牛久市の取組（地域学校協働活動推進員）の事例紹介。前回あった「何か一つのプロジェクトが必要か？」という課題に対しての話題提供として。

(2) 地域・学校の課題の共有と今後の予定について

・第4回コミュニティ・スクール推進会議

2月20日(木) 島名小学校において開催 ※詳細は追って連絡

6 閉会

山本副座長：本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

コミュニティ・スクール協議会(推進会議)に関するアンケート(学園名: ) どちらかに○(地域住民・教職員)

項目	あてはまる部分にチェック(○)を入れてください	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない	判断できない
1	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員(推進会議の構成員)による議論を行う					
2	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある					
3	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある					
4	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある					
5	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある					
6	協議会(推進会議)内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある					
7	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている					
8	校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある					
9	協議会(推進会議)で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることもある					
10	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある					
11	協議会(推進会議)で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある					
12	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている					
13	議論の結果、各主体(学校・保護者・地域の大人等)が実行すべきこと・役割分担が明確になっている					
14	学校の問題や悩みは、協議会委員(推進会議の構成員)の中で共有されている					
15	協議会(推進会議)での協議内容について、十分な情報発信が行われている					
16	当事者意識をもち、学校運営に参画したと感じることができる					
17	協議会(推進会議)への参加回数をご記入ください					回
18	その他 ご意見があればご自由に記入してください(裏面もご使用ください)					